

おれとカネム

完全版

⑥

ロッテ
入団の章

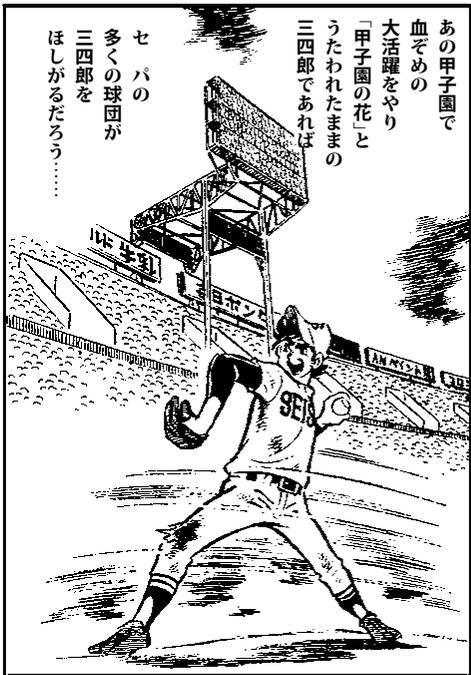
漫画 原作
古城武司 梶原一騎



登場人物紹介



『おれとカネヤン』第6巻 初出
「週刊少年キング」1974年53～1975年16号



あの甲子園で
血ぞめの
大活躍をやり
「甲子園の花」と
うたわれたままの
三四郎であれば

セバの
多くの球団が
三四郎を
ほしがるだろう……



しかしいまや
おまえが、つかいもの
にならぬ投手に
なりさがって
いたことは、どこの
スカウトも
知ってしまった

だから
それでいい!!



それで
いい……!?



いままでの
三四郎なら
他球団は
ドラフト会議で
だんじて
指名は
するまい

たとえ
ロツテが
クジビキで
ビリに
ならうとも
三四郎の
ロツテ入団は
かなうはず!!



ななるほど
そういう
ことだった
のか!!

ええか
新変化球
二段下ロップの
投法を
マスター
したことは
あくまでも
秘密じゃ!!

いったん
わすれた
つもりは
なれ!!



しかしさあ
モンダイ
のころぜ

アニキが
ダメ投手の
ままと
思いこませ
ては……

かんじんの
ロツテも
指名して
くんない
じゃなか!!

カネやんも
プロだ
慈善事業
じゃ
ないもんね



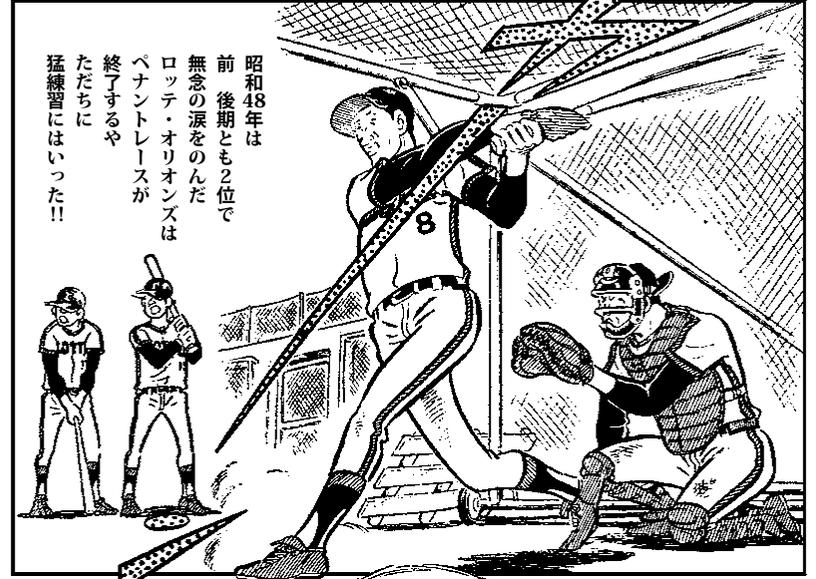
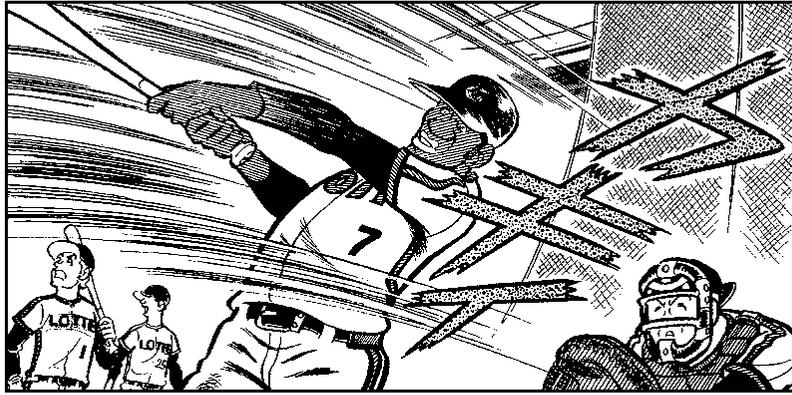
そこじゃい
金田監督だけには
よみがえった
勝三四郎を
みとめさせれば
よし!!

……というて
口先や
手紙なんぞで
しらせても
説得力は
ないぞい!!



わかった!!

ようし
腕すく
力すくで
おれの復活を
カネやんに
みとめさせるぞ



昭和48年は
前 後期とも2位で
無念の涙をのんだ
ロッテ・オリオンズは
ペナントレースが
終了するや
ただちに
猛練習にはいった!!



「来年こそは
ロッテ優勝を
合言葉に!!」



